

# 岡崎市の 交通×まちづくり

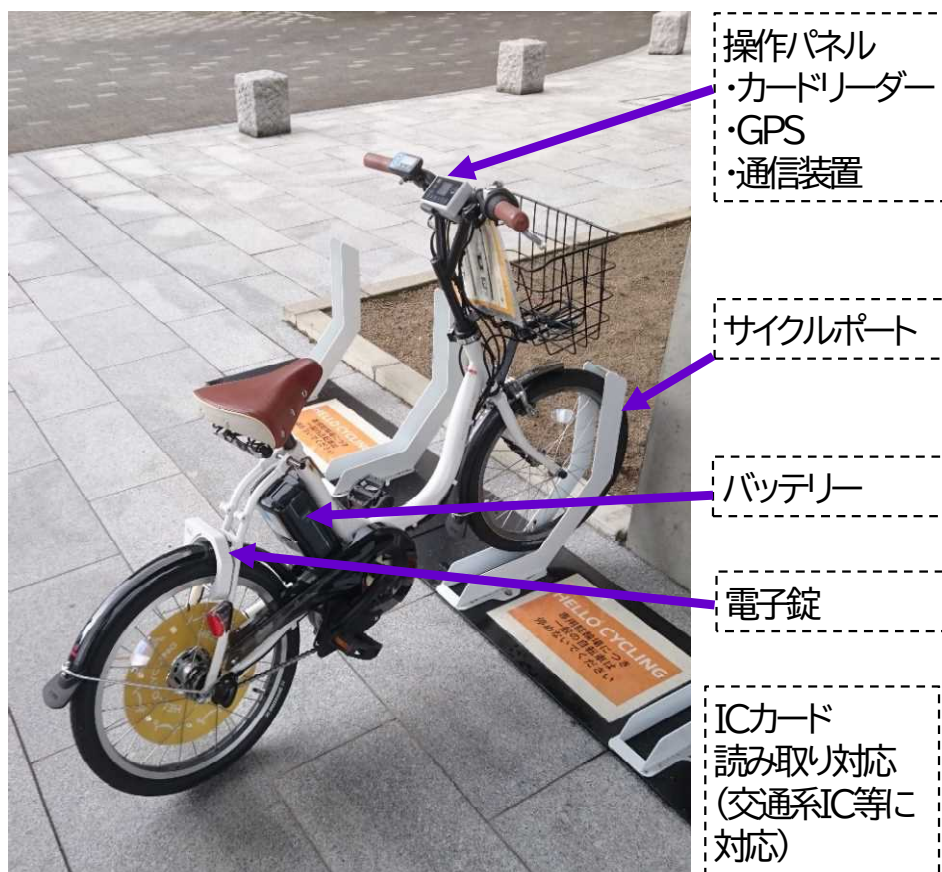
— 共創により、一歩先の暮らしを体現 —

岡崎市総合政策部地域創生課  
大森 裕美

## 事業概要

- ・2017年10月 サービス開始
- ・市内にサイクルポートを設置し、電動アシスト付自転車のシェアリングサービスを実施
- ・「観光客などの利用に即した活用」「通勤や通学又は日常生活の移動ツールとして活用」「他の交通モードとの連携やIOTの活用によるフレキシブルな運用」を想定

### 導入した電動アシスト付自転車の概要



### 実施事業の概要

エリア	名鉄東岡崎駅、JR岡崎駅、イオンモール岡崎、QURUWA地区を中心に実施
規模	16か所にポートを設置 別途、民間事業者が2か所にポートを設置 103台を運用
時間・料金	50円/15分 (上限1,000円/12時間)
運営	一般社団法人 岡崎市観光協会
システム	Hello Cycling (OpenStreet株式会社)

## 導入の背景

### 岡崎市の課題

### 解決方針

#### ●交通ネットワークの課題

公共交通は充実しているが、目的地の近くに駅や停留所がないと車移動が前提となる。

近距離移動の利便性向上  
回遊性を高めるモビリティシステムの構築

#### ●交通手段の課題

主な交通手段が車であるため、運輸部門の二酸化炭素排出量が削減しにくい。

利用者で共有可能な  
脱炭素交通インフラの整備

#### ●中心市街地の空洞化

市南部に大型ショッピングモールができたことにより、中心市街地が空洞化している。

中心市街地を回遊したくなるような  
拠点型コンテンツの提供

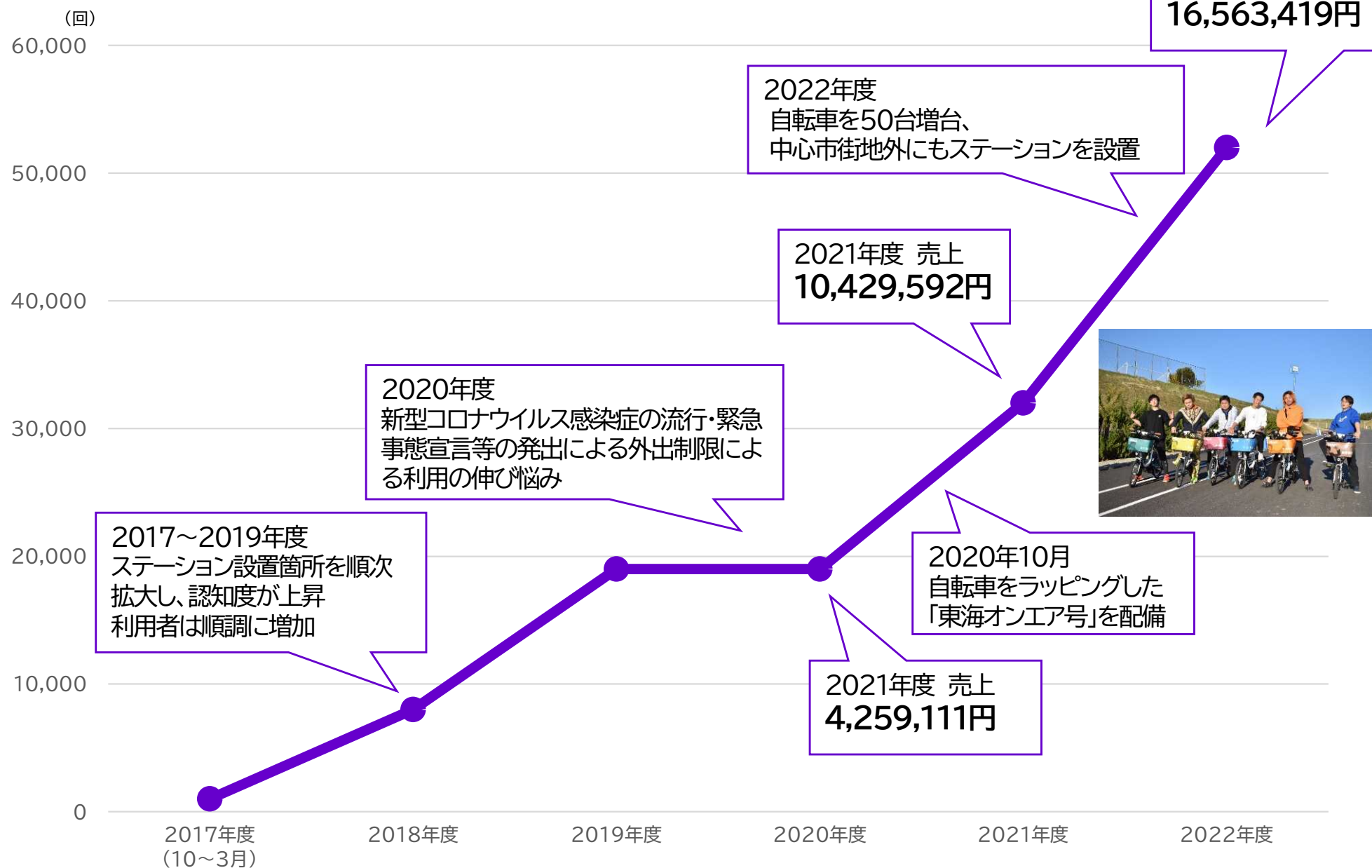
#### ●観光地が分散

徳川家康公ゆかりの観光地(寺社・仏閣・名所など)が市内に分散している。

交通およびコンテンツ両面での  
観光資源のネットワーク化

どこでも借りられ、どこでも返せる  
ICTを活用したレンタサイクル事業を検討

## 利用回数の推移





●市域面積  
387.20km<sup>2</sup>

●人口(2023年11月)  
383,802人  
169,575世帯

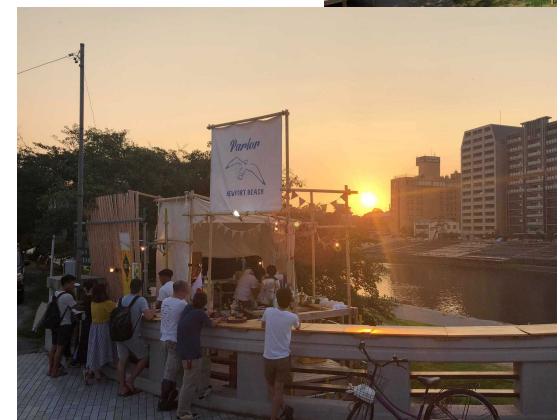
●産業構造(2020年10月)[全国平均]  
第1次産業 1.3% [ 4.0%]  
第2次産業 39.3% [23.4%]  
第3次産業 59.4% [73.4%]

●財政力指数(2022年度)  
1.00

●町内会加入率(2022年4月)  
89%

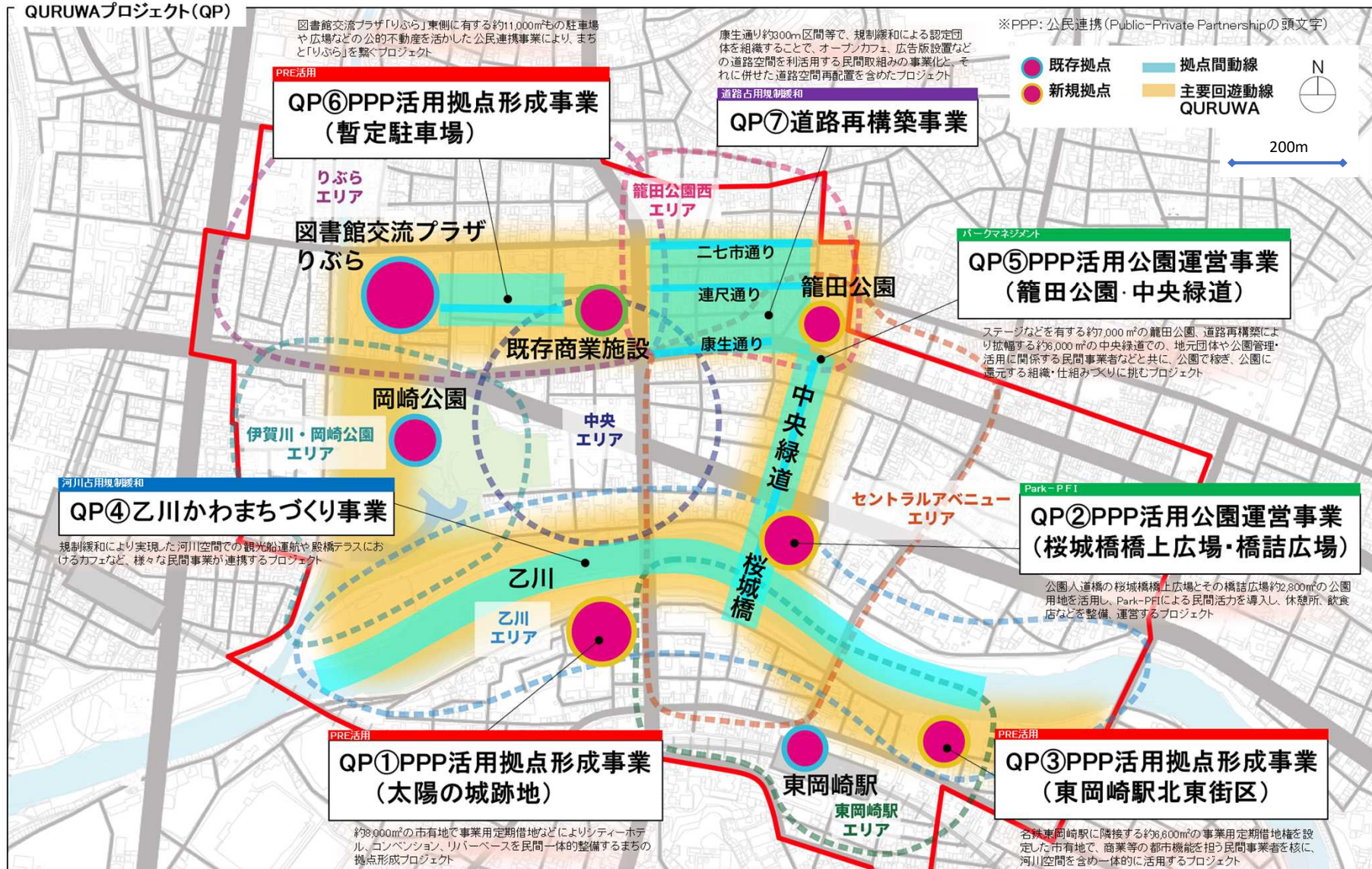
## 事業概要

- ・2015年3月 「かわまちづくり支援制度」に登録
- ・2015年11月 都市・地域再生等利用区域に指定
- ・かわまちづくり支援制度が目指すのは「河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組」
- ・河川空間を民間事業者主体で利活用できるように制度を確立させる「かわまちづくり」により、広義の観光産業の公民連携リーディングプロジェクトとして実践



## 事業概要

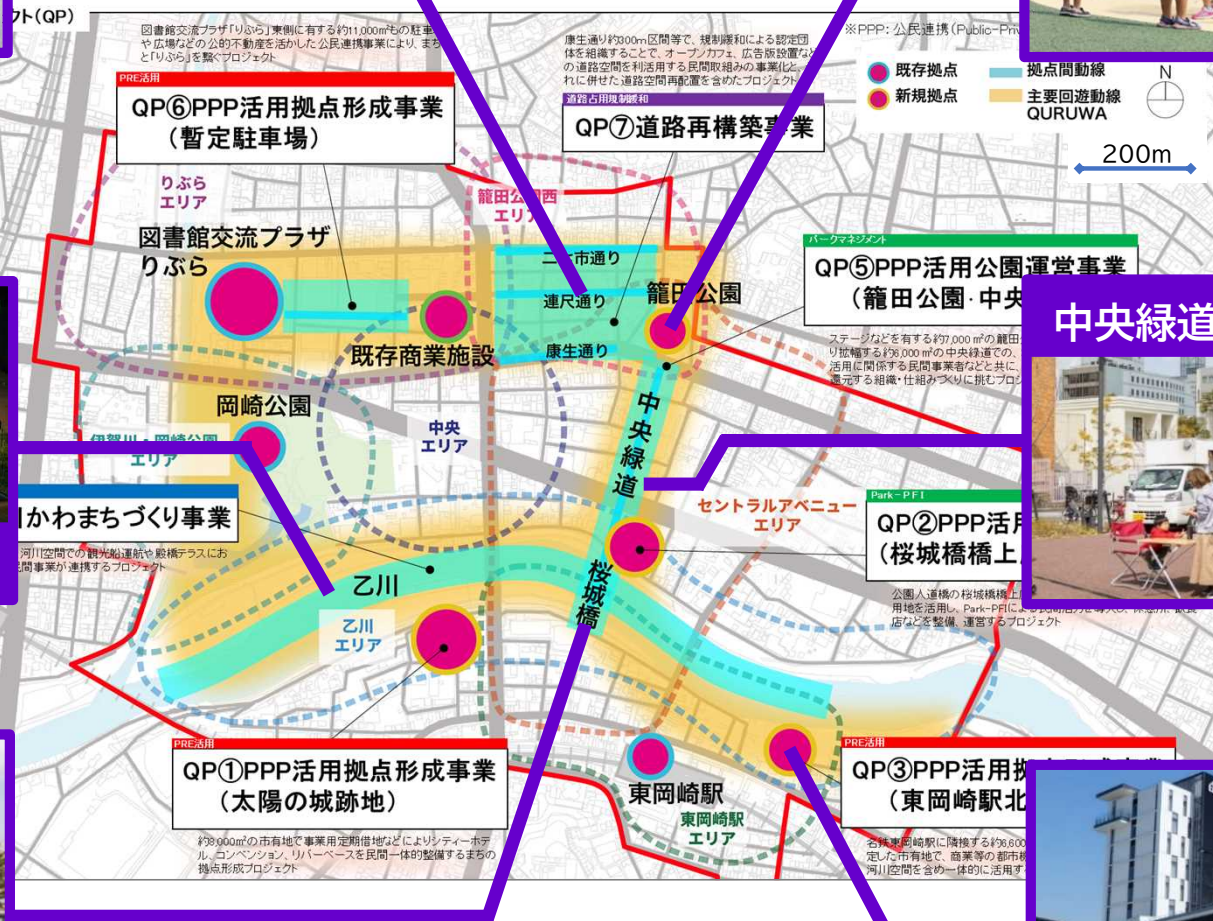
・豊富な公共空間を活用して、パブリックマインドを持つ民間事業者を引き込む公民連携プロジェクトを実施することにより回遊を実現させ、波及効果として「暮らしの質の向上」「エリアの価値向上」を図るQURUWA戦略を策定



## 連尺通り



## 籠田公園(2019年再整備)



## 乙川河川敷



## 中央緑道(2021年再整備)



## 桜城橋(2020年整備)



## オトリバーサイドテラス (2020年開業)







イメージイラスト

## 事業概要

- ・2022年11月 貸出開始(2022年度愛知県スマートシティモデル事業)
- ・QRUWA地区のエリアの価値や魅力向上を目的に、公共交通機関の利用促進の一環として、次世代パーソナルモビリティ「C+walk」を活用し、東岡崎駅から岡崎公園までの快適移動を支援

### 導入した「C+walk」の概要



- ・トヨタ自動車株製
  - ・歩道(公道)走行不可※
  - ・3輪BEVの立ち乗りモビリティ
  - ・最高速度6km/h
  - ・1回の充電で約16km走行可能
  - ・搭乗条件は身長140cm~185cm/  
体重100kg以下
- ※2023年5月以降発売モデルは、歩道(公道)走行可能

### 実施事業の概要(2023年度)

#### エリア

#### 名鉄東岡崎駅～岡崎公園



#### 期間

2023年4月～2024年1月(予定)

#### 時間・料金

午前10時～午後5時  
300円/回(30分/回)

#### 貸出方法

事前予約制(WEB)  
受付2か所から2台貸出 8台を運用

## 事業概要

- ・2023年10月～11月 パークアンドライド促進によるまちなか渋滞緩和に向け、市役所～りばら駐車場付近までの自動運転バスの実証実験を実施(2023年度国土交通省共創モデル実証プロジェクト)
- ・岡崎エリア版MaaSアプリ(WEB版)から予約できる仕組みを構築

## 自動運転バスの概要



- ・日野自動車株の小型バス「ポンチョ」を自動運転仕様に改造
- ・自動運転レベル:レベル2(ハンズオフ)
- ・定員34名(実証実験時は着座8名・立位3名)
- ・車線維持制御:GPS・3Dマップを活用
- ・障害物回避制御:AI・高精度地図を活用

## 実証実験の概要

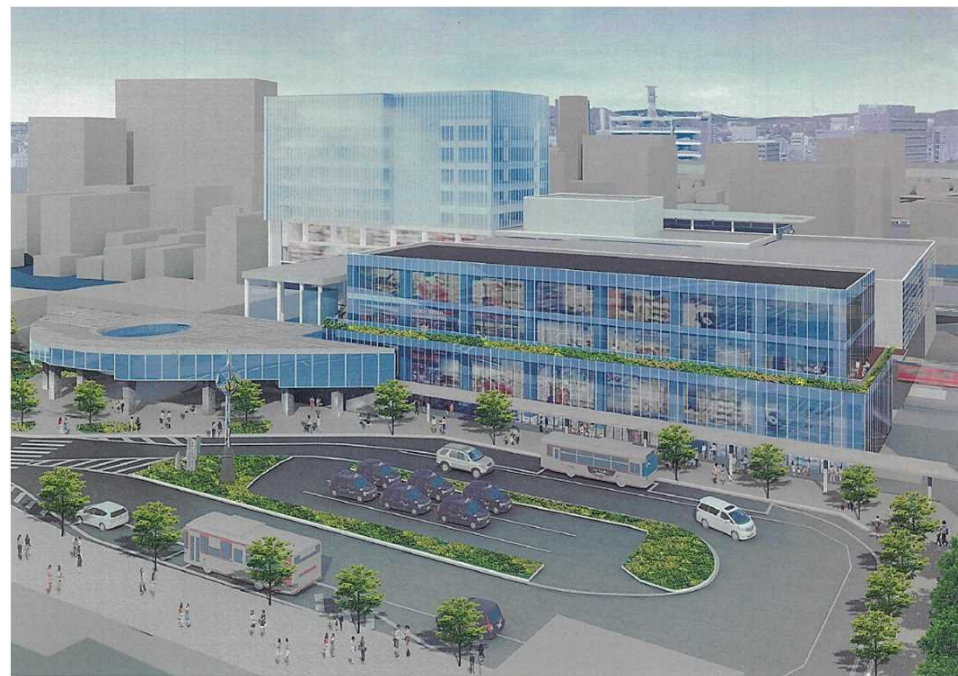
エリア	岡崎市役所～籠田公園～りばら付近 
期間	2023年10月28日～11月5日
時間・料金	午前10時30分頃～午後4時30分頃 (1時間1往復程度) 無料
予約方法	事前予約制(WEB)
システム	GPSで取得した車両の位置データを複数のカメラやセンサーで補正し、運転操作を自動で行う

## 事業概要

- ・「まちと人がつながるおもてなしの玄関口」を目指し、橋上駅舎、南北自由通路、駅前広場、周辺都市基盤施設など名鉄東岡崎駅の一体的な再整備事業を実施(年間乗降客数:11,264,593人〔2021年度〕)
- ・2030年 再整備完了予定

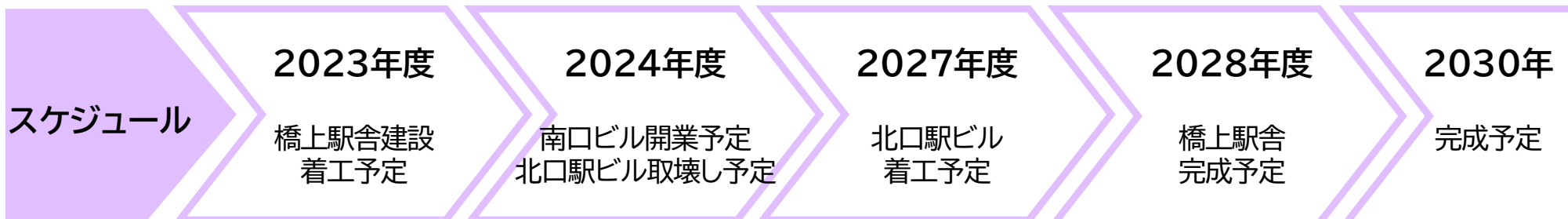


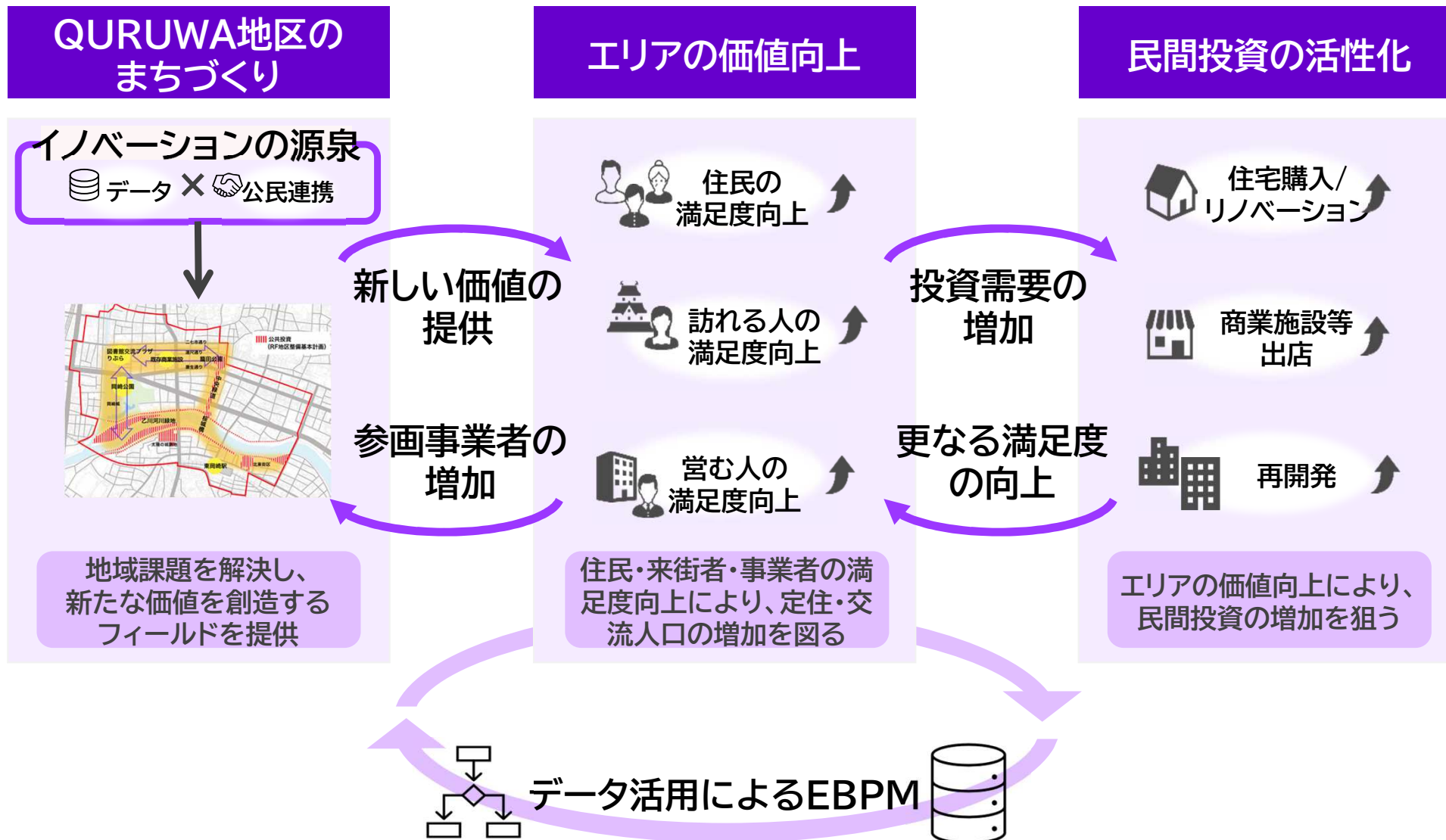
北口完成イメージ図



南口完成イメージ図

名古屋鉄道株式会社提供



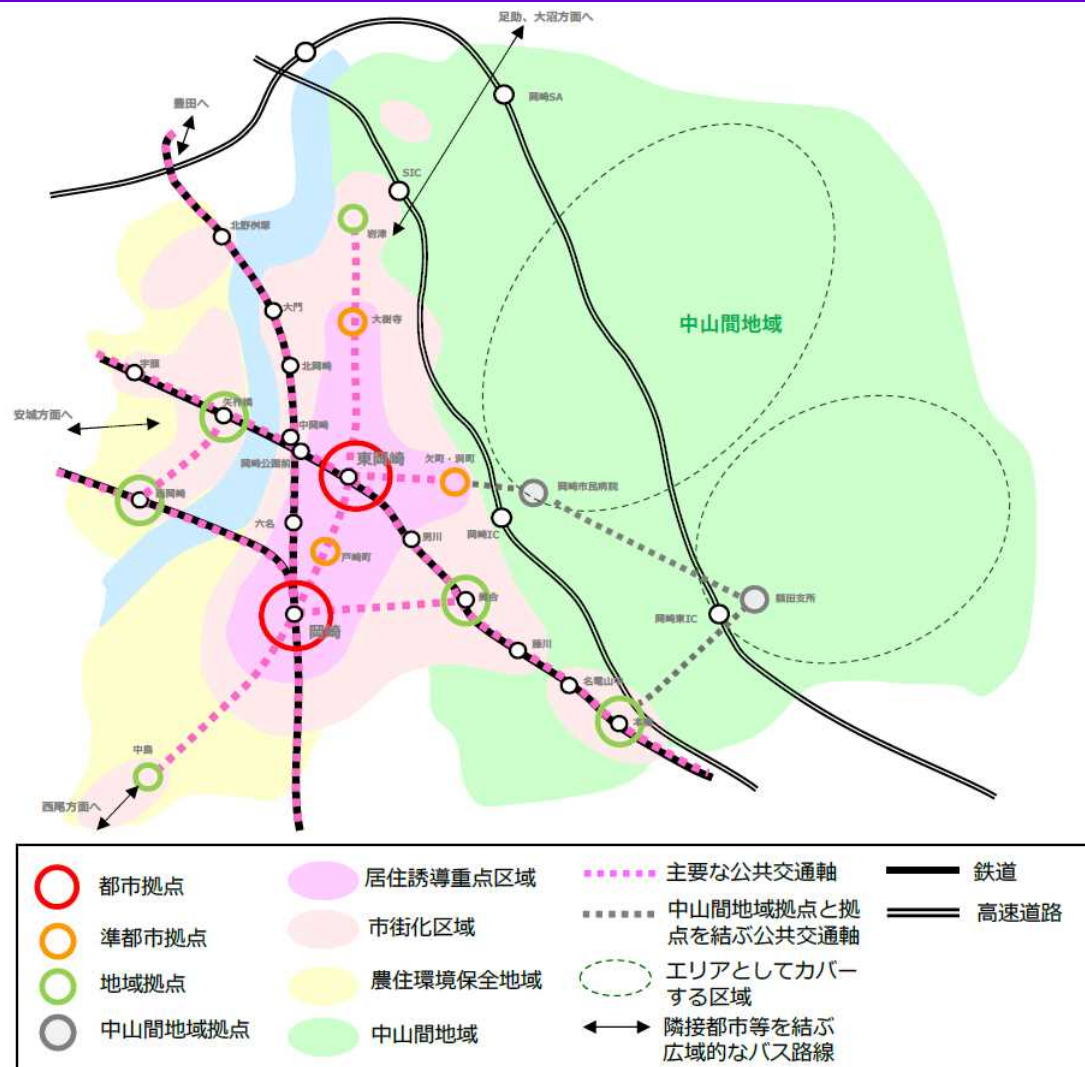


・基本理念「**新たなくらしと活力の創造を支える交通体系**」のもと、基本目標を「**交流を支え都市の魅力をも高める**」「**地域のニーズにあった地域主体の交通**」「**人と環境にやさしい交通**」「**新たな社会に対応したスマートな交通**」に設定

・成果目標は「**公共交通利用者の回復** 鉄道利用者数2,678万人/バス利用者数668万人/タクシー利用者数137万人」

## 岡崎市が目指す交通の都市像

- ・都市及び地域の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークを公共交通軸と位置づけ、一定のサービス水準を確保するとともに利便性の向上を図る
- ・居住誘導重点区域では、高いサービス水準を確保するとともに利便性の向上を図る
- ・市街化区域では、一定のサービス水準を確保するとともに利便性の向上を図る
- ・各拠点間の公共交通ネットワークの維持・充実を図る
- ・農住環境保全地域については、タクシーの活用やデマンド型交通により、バス停や拠点までのアクセスを確保する
- ・中山間地域については、週1日程度の運行を確保・維持し、自家用有償運送やボランティア輸送などの活用を視野に、地域に見合った交通サービスの導入を検討する





ご清聴  
ありがとうございました  
ございました